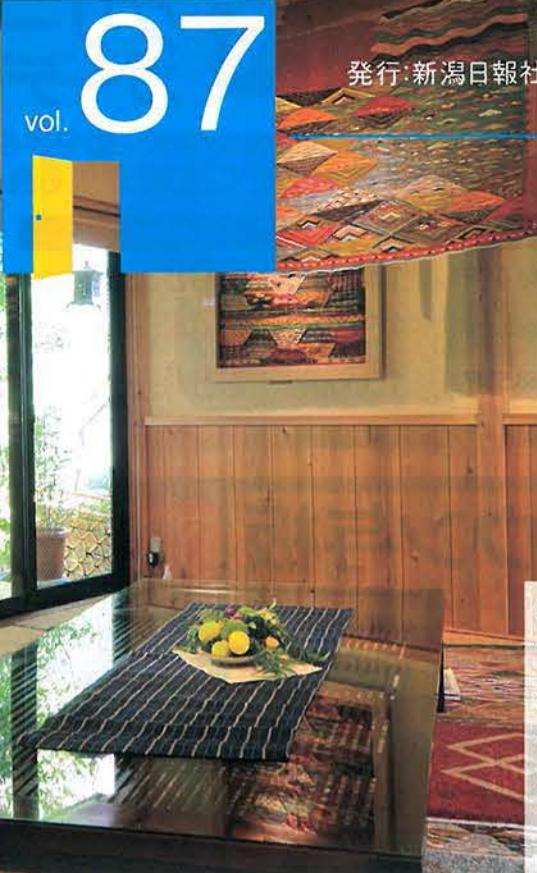


すまつしゅ

Zoom up! 今月のズームアップ!

三方よしのプロジェクト

平織りの敷物「キリム」が飾られている書斎
北アフリカ北西部マグリブの先住民族たちによる
「アール・ラトラス」と呼ばれるもので芸術性が非常に高い



仕事を通して社会貢献したい、関わった人すべてが楽しく働けるような仕組みを作りたい、そんな思いから新しいプロジェクトを立ち上げた人がいる。近江商人の考えにちなんでつけられたという会社の名前は三方舎。さんぼうしゃ代表の今井正人さんいわく「ここは人と人をつなぐ場所でもあります」とのこと。そこから一体どんな絆や物語が生まれるのだろうか。

それを「アートギャツベ」と名付け、自身が経営しているインテリアショップ「ボーネンデコール」で販売。ギャツベは使えば使うほど色に深みが出たり、風合いが増したりしていく。上質なものを使い、大切に使うというライフスタイルを通して、ものを大切に思う心、

近江商人の哲学「三方よし」。三方とは売り手、人だけがもうけるのではなく、商いを通じて購買者や社会にも貢献できるような働き方をしようという理念を表したものだ。その考えにちなんで「三方倅」を立ち上げた今井さん。ただしこちらは「世間」の代わりに「作り手」が入る。この場合の作り手とはものづくりを通して伝統や文化を守つていこうとしている職人たちのこと

こうして書くとまるで順風満帆のようだが「私が父から家具店を受け継ぎた当時は経営状態が最悪でした」とのこと。何か新しい基軸を打ち出して、きたい、そう思つていると、まさに偶然出合つたのがギャベだったのだ。この10年間、今井さんはビジネスを軌道に乗せるため懸命に走り続けた。「10年というのはちょうどいい」区切り。

© 2013 Pearson Education, Inc.

自宅に飾ってあるアートギャッベの前で

Zoom up! 三方よしのプロジェクト

取材・文 篠栗・和田弓子、和田電成(ワタツイノウインヘンソウ)
写真:渡辺治(アートスタジオ)



上：三方舎を開くにあたり、ウッドデッキを拡張
日当たりも良く来訪者に人気の場所となっている



右上：アートギャッベはインテリアショップ「ボー・デコール」で販売
織り込まれた模様には鳥=幸運、鹿=家庭円満など、それぞれ意味がある

— 今、藤本美咲が開拓した作家たちの作品 —

インテリアとして置かれている

モロッコで作られたんを日本に持てため8月に旅立つ。9月下旬には、たんの初のお供としてこの場所で行われる「モロッコキリムとプロジェクト絨毯展」
●9/22~ 三方舎にて

●10/6～ ボー・デコールにて
「ボー・デコール」
建4462-1 TEL 0250-22-0195

新潟市秋葉区新津4462-1 TEL 0250-22-0195
営業時間：10:00-19:00(水曜定休)

• 白菜時間: 10:00~10:30 (小確幸)